



「夢と希望にあふれる  
輝かしい一年に」

守口市議会議員  
立住 雅彦

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、平素は市議会活動に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

まず、昨年4月に行われました市議会議員選挙におきまして、市民の皆様からご負託をいただき、第18期守口市議会議員22名が誕生いたしました。複雑・多様化する市民ニーズに的確に対応し、本市のさらなる飛躍へ向け、議員一丸となって、しっかりと議会活動に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、我が国の経済情勢は、雇用・所得環境の改善が続くなど、前向きな状況が続いております。しかし、地方ではまだまだ景気回復の実感は伴っておらず、今後、地方まで浸透することを切に願うところでございます。

このような状況のもと、本市の取り組んでいる課題は防災対策をはじめ、行財政改革、地域コミュニティの活性化、教育や福祉・医療の充実など多岐にわたっており、道半ばであります。

さらに、現在、人口減少や少子高齢社会に対応し、自律的で持続的な社会を形成するため、将来を見据えた地方創生にも取り組んでいる最中であり、これは今まさにまちづくりのあり方そのものが大きく問われております。

市議会といたしましても、諸課題をしっかりと見極め、議決機関として、その役割と責任の重さを自覚し、バランスの取れたより豊かで住みよいまちづくりに向けて、鋭意取り組んでまいり所存でありますので、これからも力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、守口市は本年、市制施行70周年を迎えます。これまで本市の発展のために尽力をされてきた方々に対し、心から敬意を表し感謝を申し上げますとともに、この良き記念の年を契機に、本市の更なる躍進・発展を願い、市民の皆様とお祝いできることを楽しみにしております。

結びに、本年が皆様にとりまして、夢と希望にあふれる輝かしい一年になりますようお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成 28 年

新年の

ごあいさつ



「<sup>かんきょう</sup>歓響都市もりぐち」の実現へ

守口市長  
西端 勝樹



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様にはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素から市政各般におきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、格上である南アフリカ代表に歴史的な大金星を挙げたラグビー日本代表や日本人2名の方がノーベル物理学賞、生理学・医学賞を受賞するなど、日本人の世界でのめざましい活躍が国民に元気や勇気を与えてくれました。

また、明治日本の産業革命遺産として知られる福岡県の八幡製鉄所や長崎県の軍艦島など全国23施設が世界文化遺産に登録されるなどの嬉しいニュースもありました。

本市におきましては、子ども医療費助成制度の所得制限を撤廃し、対象範囲を中学校卒業までに拡大するなどの子育て支援の充実や国の地方創生事業の一環として、プレミアム付商品券の発行を行い、地域経済の活性化を図るなどの施策を行ってまいりました。

昨今の日本経済は、雇用・所得環境が改善傾向にあり、景気は緩やかに回復に向っております。

その動きは地方にも少しずつ広がりを見せてはいるものの、未だ予断を許さぬ状況であります。

本市の財政状況におきましても、一般会計の実質収支が昨年度に引き続き黒字となったものの、扶助費を始めとする義務的経費の割合は依然として大きく、財政構造は硬直状態にありますが、創意工夫と斬新な発想で将来にわたる強固な財政基盤の確立に向け、全庁一丸となり、更なる行財政改革を推し進めてまいり所存でございます。

また、今年は本市にとりまして市制施行70周年という記念すべき節目の年であり、飛躍の年とするべく、市民の皆様との協働により、様々な記念事業を展開してまいりたいと考えております。

そして、将来都市像を「育つ・にぎわう・響きあう 人と心が集うまち <sup>かんきょう</sup>歓響都市もりぐち」と掲げ、住んでみたい住み続けたいまちの実現に向け、鋭意取り組んでまいりますので、皆様には、より一層の市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年が皆様にとりまして、幸多く実りのある1年となりますよう、祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



3 守口市立あおぞら保育所



日吉公園にて



市の木・くすのき



八雲地区運営委員会  
もちつき大会



守口市だんじり祭

守口市だんじり祭